

社会・文化・教育



キーワード：伝統文化、インバウンド観光、文化人類学

伝統文化の継承

国際学部 国際学科 准教授

金子 正徳 KANEKO Masanori

研究の内容

私の専門分野は文化人類学です。文化人類学は、一般の人々に関する多様な文化・社会現象を、「長期のフィールドワーク」と「参与観察」というふたつの研究手法を主として用いながら読み解いていく学問分野です。私の研究のフィールド（現場）は、主としてインドネシア、特にスマトラ島南部のランブン州です。最近は、ジャンビ州、西スマトラ州などスマトラ島他地域にも対象を広げています。

複雑化する現代社会を見るために「フィールドワーク」と「参与観察」は、文化人類学の現場とは異なる現場にも形を変えながら応用され、いまはビジネス・アイデア創発の場においても重要な意味を持っています。

いま私が関心を持っているのは、（1）インドネシアにおける暮らしの変化、そして（2）インドネシア人の移動動態です。

（1）としては、インドネシアの暮らしにおいて新たに導入された「みずまわり」の話、生活用品の変化の話などを挙げることが出来ます。

（2）としては、インドネシア国内の国内移民動態や、インドネシア人の訪日観光・国内観光動態を挙げることが出来ます。

これらの研究のため、学外の多様な研究者との共同研究も重要視しています。



共著・単著の例

産学連携・社会連携へのアピールポイント

伝統文化・生活文化に関する産学連携・社会連携、インドネシアからのインバウンド観光促進に関する産学連携・社会連携などが考えられます。

researchmap : 金子正徳

URL : <https://researchmap.jp/read0100842>

